福井工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	地域都市計画

科目基礎情報

科目番号	0086	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	環境都市工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	教科書：自作教材　　参考書：都市計画，森北出版		
担当教員	大和 裕也		

到達目標

（1）地区計画の概要について説明できること.
（2）地区計画の設計手法について説明できること.
（3）地域の課題解決を論理的に説明できること.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安（優）	標準的な到達レベルの目安（良）	未到達レベルの目安（不可）
地域計画と都市計画との関連性，国土の現況と課題に関する事項	地域計画の位置付け，土地利用の骨子，さらに，国土づくりのための計画の在り方を説明できる.	地域計画の階層，根幹や区域区分，地域地区について具体的に説明できる.	新たな国土づくりの理念や施策を理解していない.
地域の課題解決に関する事項	よく地域の課題解決までを論理的に考察できる	地域の課題解決までを論理的に考察できる	地域の課題解決までを論理的に考察できない

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 RB2
JABEE JB3

教育方法等

概要	地区計画では，都市計画区域内の一定地区を対象にし，地区施設と建築物を一体的に整備するものとして位置付けられている．本講義では，地区計画の設計手法を学習するため，地区計画制度の概要を理解し対象地域で地区計画の設計を行う.
授業の進め方・方法	講義は，自作教材を用いた解説を主体とする．講義終了後に進捗状況を報告するものとする. 地域の課題解決に関する課題を実施し，まちづくりに関する理解を深める.
注意点	【学習・教育目標】 本科（準学士課程）：RB2(◎)，RC2(　) 環境生産システム工学プログラム：JB3(◎)，JC1(　) 【関連科目】 環境都市計画論（本科3学年），交通工学（本科4学年），環境都市システム工学（専攻科・環境システム工学専攻2学年） 【評価方法】 成績は，課題の得点をもって評価する. 【評価基準】 成績６０点以上.

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☑ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	シラバスの内容を理解する.
		2週	地区計画の概要	地区計画の概要について，環境都市計画論で学習の復習を踏まえ理解する
		3週	地区計画の事例①	国内の地区計画の事例について理解する
		4週	地区計画の事例②	国外のまちづくりの事例について理解する
		5週	地区計画の設計①	地区計画の目標の設定、土地利用の方針の設定
		6週	地区計画の設計②	建築物等の整備方針の設定
		7週	地区計画の設計③	建築物の用途の制限，敷地面積の最低限度の設計
		8週	地区計画の設計④	建築物の形態又は色彩その他の意匠の制限の設計
	2ndQ	9週	中間報告会	
		10週	持続可能な地域のためのまちづくり	地方創生，地域循環
		11週	地方自治体での地域マネジメントの役割と課題	実務からみた地域マネジメント
		12週	観光とまちづくり	観光ブランディング，インバウンド，地域資源
		13週	課題①	課題を各自で調査、課題設定
		14週	課題②	課題解決に向けた分析・提案
		15週	報告会	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	課題	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	50	50
専門的能力	50	50